

支持声明

日本大学の親愛なる学生諸君へ

全学部を起原に、今や全学的にまき起つてゐる諸君の自治奪還斗争に対し、われわれO.Bは熱烈な支持をおくと共に、最も断固として斗つてゐる全学共斗会議、各学部斗争委員会、そして一方になんなんとする学生諸君の不退転の隊列に、固い連帯の挨拶をおくりまします。

遂に三十億円に上つた「使途不明金」事件は、日本大学の本質を暴露しましたが、同時にそれは、あらゆる意味で、現役の日大生諸君、そして我々O.Bが、わが日大から受けたはかり知れない侮辱でした。日大の実態と本質は、「専利オ一主義」、「思想・集会・表現の自由の否定、学向不在」、「公然陰然たる学生自治活動への介入と弾圧」そして「学生の運動を暴力的に破壊する部隊の養成」として指摘できましよう。こうして、大学の自治それ自体を喪失し、大学存立の基本的条件を失つてゐる日大にあつては、もはや、学生だけが真の大学をとり戻す闘いの担い手になりうるのです。そして真の大学の實現は、大学を学生自身の手にとり戻すという自治奪還斗争の勝利によつてのみ、得られる、と、私達O.Bは以上のように考えています。

私達O.Bもまた現役時代、同じ目的のために斗い、その都度、当局が雇つた応援團、体育部の一部暴力学生の暴行をはじめ、数々の強弾圧を受けてきました。私達には、残念ながら力量不足のために、自治権の奪還と確立を實現することはできませんでした。しかしいま、「不正事件」を徹底的に糾弾し、学生弾圧・処分を粉砕すべく、大衆回交を要求して立ち上つた圧倒的大多数の学生諸君の斗いは、今迄とは違つ、明確に勝利への展望をもつたものです。

学生諸君のこの斗いはあくまで正しく、かつ一学園内に止らぬ社会的にも重大な斗いです。それだけに、古田会頭を中軸とする当局は、がむしゃらの弾圧をなげてくるだらうし、従つて、勝利迄は永い斗争になるでしょうが、彼等が学生に対し卑劣な暴行を加えれば加えるほど、彼等は一層危殆的な死沼に落ち込むことになるでしょう。そして、学生諸君の固い連帯と決意は、必ずやそれをはねのけ、勝利するであらうことを、私達は確信します。

日本大学の親愛なる学生諸君へ

大学当局に対し斗いの宣言をださづけ、社会に対しても堂々と大学生の復讐宣言をなして、いま立ち上つた諸君の、この斗いを、私達O.Bは完全に支持すると共に、全幅の支援をおくる決意を、ここに表明します。

一九六八年六月四日

日本大学学生支援
全学部O.B会議